第8講

小論文を紡ぐ手順(6)

時間配分を意識する

チャプター1

レクチャー

ポイント

　試験には(　　　　　　　　　　　)時間がある。
　論述する字数によって、おおよそ制限時間が推測できる。例えば800字の小論文だと(　　　　　　　　　　　)分程度となることが一般的である。
　「①(　　　　　　　　　　)」および「②(　　　　　　　　　　)」時間を十分に取ろう。
　「③(　　　　　　　　　　)」時間をできる限り短縮するために、(　　　　　　　　　　)を行おう。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　いま古典を学ぶ意味は何か、あなたの考えを400字以内で述べてください。

(獨協大学　国際教養学部　言語文化学科　卒業生子女入試　2018　改題)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

(　　　　字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私は、古典は興味のある人が学べば良いのではないかと考える。毎日の生活でも、学んだ古典を生かす場面は特に無く、試験や受験のためだけに勉強しているだけという気がするからだ。同じ日本語でも、今の言葉とも違うので会話で使うこともなく、なぜ勉強しなくてはいけないのか疑問を持っていた。例えば、数学を勉強しても生活で使うことが無いと言うと、必ず、こんな事に役に立ちますという意見が出てくるが、古典についてはそういった役立ち方も特に無いように思う。

　源氏物語や徒然草など、古典文学を読むためには必要な知識であるかもしれないが、既に今の言葉に言い換えられていて、文法や言葉の意味を改めて学ばなければ読めないということも無い。個人的に古典に興味を持ち、勉強したいと思う人が大学などでそういった勉強ができる学部に進学して勉強をして、学校で古典を学ぶ時間を他の教科の勉強に充てるようにしたら良いと思う。

(393字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　今日、頻繁に古典に触れる機会は少ないだろう。それでも私は今も古典を学ぶ意味は、あると考える。その理由は、古典を知ることで、過去に起きた出来事や、現在まで続いている歴史を読み解くことができるからだ。

　私は中学校の修学旅行で京都、奈良へ行った。事前に自分で京都の歴史を調べ、京都が長年歴史の中心地であったことに、あらためて驚いた。中でも社寺などの建築物は現代のような技術が無いにもかかわらず、朽ちることなく今も残っている。また、「ここで本能寺の変があった」など、知っている知識が繋がっていくところが楽しいと感じた。

　しかし、古典に触れる機会が少ないため、自らお寺に行き、話を聞く高校生は少ないだろう。よって気楽に古典に触れられる機会や、学ぶ場所があると良いと考える。英語の単語を覚えるように、古典で使用されている言葉を覚えていき、謎解き感覚で解読していく、といった楽しい機会となるものを考えたい。

(400字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄